

やさしさをできている映画館

# バリアフリー 映画館へ

親子鑑賞室も完備!



赤ちゃん連れや、大勢の人がいる場所が苦手な子どもも、親子で見られる完全防音の部屋があるから、人目を気にせず見ることができるよ!

映画はすべて字幕入り

耳が不自由な人もいっしょに映画が楽しめるように、映画にはセリフや効果音の字幕が入っている。難しいセリフも、字幕があるとわかりやすい!

車いすもOK!

車いすのまま映画を見られるスペースが3台分ある。入り口やトイレも段差がなく、スムーズに移動できる。

イヤホンから音声ガイド

座席にイヤホンをつなげると、映画の情景や登場人物などの詳細な説明が流れ、目が不自由な人もいっしょに映画を楽しめる。

盲導犬も

いっしょに!

目の不自由な人のパートナーである盲導犬。訓練されているので大きな音が出る映画館でも問題なし!

東京の小さな商店街にある、日本一小さな映画館。じつはちょっと特別な映画館なんだ!

# ようこそ!



▲左から、音声ガイドのナレーター・八木由華恵さん、「シネマ・チュプキ・タバタ」代表の平塚千穂子さん、アドバイザーとして参加した田中正子さんと盲導犬。

## バリアフリーな映画ができるまで

どんな人でも楽しめる映画作りは、じつは「シネマ・チュプキ・タバタ」の事務所で行われている。映画の字幕付け、音声ガイドの台本作りや音入れのほか、吹き替えが必要なときは声優を集めて独自に収録を行っているという。すべての素材がそろったら、最後はパソコンで編集し、バリアフリーな映画が完成だ!

### 音声ガイド台本を作る

映画に出てくる人物がどのような色や素材の服を着ているのか、建物はどのような建築様式で作られているのかなど、調べながら音声ガイドの台本を作る。台本を音声ガイドのナレーターが作ることもある。



### 台本の内容を検討

平塚さんと監督、アドバイザー、音声ガイドのナレーターなどが集まって会議。映像にあわせて音声ガイドをあて、もっとよい言い方がないかを検討していく。導入部分はとても大切に、取材の日は冒頭の5分間の台本作りに、1時間も話し合いが続いたよ!



### 音声ガイドを録音

台本をみんなで改善したあとは、映像を見ながら音声ガイドをナレーターが入れる。聞き取りやすく、気持ちの入ったナレーションにグッとくる!



きみは映画館に行ったことがあるかな? 大きなスクリーンと臨場感あふれる音。すぐくわくわくするよね。そんな映画を、ハンディキャップのある人もいっしょに楽しめる映画館「シネマ・チュプキ・タバタ」が、開館してもうすぐ5年をむかえるよ。「2001年から視覚障害者のための鑑賞会や上映会のイベントをやっていたんですが、だんだん常設の映画館がほしいなと思うようになったんです。せっかく作るなら、みんなが安心できる映画館を作ろうと

思いました」と代表の平塚千穂子さん。平塚さんの夢である「バリアフリー映画館」の開館資金は、ネットで寄付を集めた。「どんな人でも映画を通して、大事なことを考えたり、人とながれたりします。この映画館が、何かを得られる場所、みんなにとって大事な場所になったらいいなと思います」 「バリアフリー」という考え方が当たり前前の世の中になって、こんな映画館が日本中にたくさん増えるといいね!

**CINEMA Chupki TABATA**

〒114-8555 東京都荒川区西日暮里2-8-4  
電話 03-6240-8480  
https://chupki.jp.org/

**3月30日まで絶賛上映中!**

『廻り神楽』監督・プロデューサー 渡藤 協 監督/大澤未来

岩手県で340年も続いた「黒森神楽」。何度も津波被害を受けた土地に伝わる、神楽に込められた思いとは……? 動画配信サイト「エノシネマ」でも配信中。 <https://www.mawarikagura.com>

写真提供/シネマ・チュプキ・タバタ(映画字幕入り、外観)、ビジュアルフォークロア(廻り神楽) 撮影/五十嵐美弥(小学館) 加工/設楽 満 デザイン/タナカデザイン